

# みおつくし 零標

箕面こどもの森学園の小学部では、「子どもが学びの主人公」というコンセプトを掲げています。子どもたちには、学びは自分自身のためのものだという意識を持ってもらいたいと考えているからです。一方、中学部では「学びと生きるをデザインする」というコンセプトを掲げて、子どもたちが自立への体制を整えることと、自己と社会との関わりをより強く意識するように支援しています。小学

認定NPO法人 箕面こどもの森学園 校長

## 藤田 美保



部と中学部の学びの違いを、海での泳ぎ方に例えて表現すると、小学部の学びは「シュノーケリングのような学び」、中学部の学びは「スキューバダイビングのような学び」と言えるでしょう。

小学部の子どもたちは、この学園の学びを通して、自分の学習内容を自分で考えて自分で決めていくことができるといって、さまざまな「おもしろい」の家の家などを作る人もいます。例えは、漢字

をどこまでやるのか、自由作文を何枚書くのか、計算の問題や図形の問題をどれだけ、いつやるのか、一人一人の子も

漫画を描いたりする人もいます。木で船や家具を作る人もいれば、キッチンでお菓子作りをする人もいます。小学生が、どうやって自分の学習内容を決めたり、プロジェクト

と同じように、小学生の学びは、誰かがやっているのを見たりしながら、「おもしろそうだからやってみよう」という、自分の興味関心から出発して、自分に戻っていくような学びだと思えます。

小学部の学びがシュノーケリングのような学びであるのに対して、中学部の学びは、スキューバダイビングに似ています。誰かがやっているのを見て、「おもしろそうだから」という理由で始めることもあり、

は、ずっと大好きな仕事ができた。卒業してから興味として続けていきたい」と話してくれました。小学部の頃には、周りの不安が強くて、自分に自信が持てなかった人がいました。中学部の学びの中で、好きな歴史や本のこと

で「It's a piece of cake (楽勝だよ)」という言葉に変えることができる」という話を在校生に話しました。自分の中に何かがあるのかを探しに行き、そこに真摯に向き合ったからこそ、一人一人がその人らしく育っていったのだと思います。シュノーケルの学びから、スキューバダイビングの学びへ行くためには、まずはシュノーケリングの学びを十分に楽しむことが大切です。そこで十分に満ちた人が、自分の中の大切なモノを探すために深く潜っていくことができるのだと思います。

そして、何をやるかを自分で決めて自分の好きなことがやれるプロジェクトの時間があることも、この学園の特徴の一つです。工作で貯金箱やミニチュア

その学び方は、シュノーケリングに似ています。シュノーケリングでは、深く潜ることはなく、海面近くを横

から戦闘機や戦車などを作っていたのです。高まり、最後には、プラモデルの戦闘機にそっくりの木製の戦闘機を作り上げるまでになりました。卒業する

分を信じたりすること、人に頼ったり、自分で

大阪箕面市

# シュノーケルの学びからスキューバダイビングの学びへ

この欄に対する感想(400字以内)をお寄せください。採用、掲載分には図書カードをプレゼントします。「零標」編集部